

授業科目 解剖学実習Ⅱ

【担当教員名】 西野幾子、山口康昭、山田まりえ、 千葉正司	対象学年	1	対象学科	理学・作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
 人体模型標本、関節機能模型、人体骨格標本などを用いて、人体、特に筋系、関節・靭帯系を理解する。
 人体組織、特に骨、軟骨、筋の微細構造を光学顕微鏡的に観察し、それらを理解する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 骨・筋組織の構造を光学顕微鏡的に概説できる。
2. 主な関節を構成する骨、それらに付随する靭帯を観察・スケッチし、それらの名称、簡単な機能を説明できる。
3. 上肢・下肢の筋を観察・スケッチし、それらの名称と機能を説明できる。
4. 体幹の筋を観察・スケッチし、それらの名称を説明できる。
5. 体表解剖と内部構造の位置関係を把握する。
6. 系統解剖を見学し、人体の構造を3次元的に理解し、個々の身体の違いを実感する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	解剖学実習Ⅱの概要とオリエンテーション		実習
2	骨組織の顕微鏡観察とスケッチ	1	〃
3	筋組織の顕微鏡観察とスケッチ	1	〃
4	関節・靭帯学 1 3 各関節の機能模型を観察とスケッチ	2	〃
~			〃
6			〃
7	筋学 1 3 上肢・下肢の筋の観察とスケッチ	3	〃
~			〃
9			〃
10	筋学 4 体幹の筋の観察とスケッチ	4	〃
11	体表観察 1、2	5	〃
12			〃
13	人体解剖見学実習 新潟大学医学部	6	〃
14			〃

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のための解剖学	渡辺正仁	廣川書店	2000年 5500円
参考書	ザ・オルフ 人体解剖学アトラス	内野滋雄他	西村書店	8500円
その他の資料	プリントの配布			

【評価方法】 実習の出席・態度、小テスト、レポート、 スケッチブック、期末試験 の総合評価	【履修上の留意点】 実習は標本の数により、全員が同じ順序では行えないので注意すること。解剖 実習Ⅰと同様に欠席をしないこと。人体解剖見学実習の日程は冬休み期間中を 予定しているので、日程をあけておくこと。
---	---

作業療法学科
専門